

議会 市政の報告

五條市長職務代理者
五條市助役

小藪 良彦



平成18年第3回定例会が9月4日に開会され、
五條市長職務代理者小藪助役が市政の報告を行
いました。

行政改革の推進

はじめに、最重要課題であります「行政改革の推進」への取り組みについては、将来にわたって持続可能な行政経営を行うため、その方向性を明らかにした「新行政改革大綱」を策定すべく、現在、行政改革推進本部会議ならびに市民会議等を開催するなど全庁的に取り組んでおります。

19年度予算

一方、19年度予算については、「歳入に見合う歳出構造」に転換すべく、これまでの積み上げ予算から、経常経費等すべての事務事業にかかる歳出の大幅削減を骨格とした「枠配分方式」を検討するよう指示をしたところであります。

地方財政の危機化は、本市だけでなく全国的な問題であり、奈良県においても7月3日に「真の地方自治を確立する奈良県総決起大会」が開催され、住民に対し行政サービスを提供できる地方交付税の総額を確保するよう、国に要望を行いました。今後、限られた財源、人材等の資源を活用し、経営的感覚を取り入れ、徹底した行政改革を推進してまいります。そのためには、「痛みをともなう改革」を断行しなければならず、市議会ならびに市民各位には、深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

交通政策

次に、「交通政策」の取り組みのうち、「バス路線問題」への対応については、昨年来、県・

関係町村および奈良交通株式会社と、現状路線をできる限り維持する前提で、路線の再編計画および財政支援を含め協議を重ねてまいりました。

その結果、10月1日から五條・西吉野線を含む10路線でルート変更、一部休止および減便を余儀なくされましたが、応分の赤字補てんをして、路線の維持・確保に努めたところであります。

今後も、県および奈良交通株式会社と協議を重ねながら、必要な路線の維持・確保および財政支援を強く要望してまいります。

五條・吉野魅惑体験フェスティバル

次に、「五條・吉野魅惑体験フェスティバル」については、7月15日に前夜祭、16日にオーブニングイベントが、十津川村昴の郷で盛大に開催され、本市からも天誅組部隊の参加や特産品販売等を行い、多くの市民の方々に参加いただきました。

一方、事業の一環として、7月30日には柿農家の協力をいただき、「柿づくり体験教室」を開催しました。当日は、市外からの参加者に、柿の作り方やその学習会を行い、「日本一の柿づくりの市」をPRしました。

道路整備事業

次に、「まちの活性化」の取り組みのうち、「道路整備事業」についてご報告申し上げます。

まず、京奈和自動車道五條道路については、6月17日に暫定2車線で全線開通しましたことは、ご案内のとおりであります。開通にともない、すでに国道24

号等の交通渋滞の緩和や交通事故の減少等につながっております。

また、各インター周辺道路および沿道における広告景観への取り組みについては、9月1日に「景観保全型広告整備地区」の県指定を受けたところであり、自然環境と調和した景観の形成に努めてまいります。

次に、国道24号の拡幅整備の進捗よく状況については、現在、国と連携して本陣交差点から市役所下までの間の用地交渉を行っており、引き続き、全線の整備実現に向け鋭意取り組んでまいります。

一方、市の幹線道路のうち、市道五條北部幹線については、京奈和自動車道五條道路の供用開始にあわせて全線開通いたしました。

また、市道五條荒坂線の拡幅整備については、7月末に完成し、今後は、大川橋の右折レーンの早期整備について、県に働きかけてまいります。

次に、地域高規格道路「五條新宮道路（五條市域）」の概略ルートについては、国・県と複数のルート案をもとに、アクセシビリティおよび整備効果等を検討してまいりました。

その結果、「現道の国道168号で五條市街地および本陣交差点を通過して、国道310号によって五條インターへアクセスするルート帯」が、交通機能面から見た整備効果の点で最も優位性があり、このルート帯を基本に調査を進めていくことで合意されました。

今後、詳細道路計画の検討および早期実現に向け、国・県に働きかけてまいります。